# 地域福祉活動計画

「地域福祉活動計画」は、花巻市に暮らす高齢者や障がい者、子どもをはじめ、すべての住民が支え合い、安心して暮らし続けることができる「福祉のまちづくり」を進めるための計画です。
「住民福祉活動計画」「地域福祉推進計画」「基盤強化計画」の３つの計画で構成しています。

| | |
|---|---|
| **住民福祉活動計画** | 住民がすすめる福祉のまちづくりの目標であり、活動していくための計画。市内１０地区でそれぞれに福祉活動やまちづくりに携わる住民の皆さんと策定し、住民の「こんな地域にしたい」という思いや、「地域らしさ」を形にしたもの。 |
| **地域福祉推進計画** | 花巻市社会福祉協議会が住民や様々な団体・関係機関とともに、市域で地域福祉活動を推進していくための計画。 |
| **基盤強化計画** | 地域福祉を推進するために必要な、花巻市社会福祉協議会の組織や体制のあり方を示し、その基盤の強化を進めるための計画。 |

# 花巻市社会福祉協議会矢沢支部

花巻市社会福祉協議会では地域福祉の推進単位として花巻市を１０の地区に分け、その各地区に社協支部を設置しています。

**【矢沢支部運営委員の選出団体】**

矢沢地域振興会、矢沢地区区長会、矢沢地区民生委員児童委員協議会、矢沢地区教育振興協議会、矢沢地区老人クラブ連合会、花巻市身体障害者福祉協会矢沢支部、矢沢小学校、学識経験者

**【矢沢支部の主な活動状況】**

敬老会事業（補助金交付又は記念品配布）、高齢者の交流会「ふれあい寿サロン」、地域福祉懇談会、児童支援事業「キッズわくわくスクール（年３回）」、研修会、矢沢地区戦没者追悼・平和祈念式、キャップハンディ体験（４年生）、矢沢地域振興会（コミュニティ会議）と連携した事業の推進　　等々

児童支援事業の様子

【矢沢地区の年齢層別人口及び世帯等の状況について】

| | |
|---|---|
| 人口 | 7,610 人<br>（男 3,645 人:女 3,965 人） |
| 年少人口（0～14 歳） | 855 人（11.2%） |
| 生産人口（15～64 歳） | 4,070 人（53.5%） |
| 高齢人口（65 歳以上） | 2,685 人（35.3%） |

| | |
|---|---|
| 行政区数 | 10 行政区 |
| 世帯数 | 3,079世帯 |
| 一人暮らし高齢者世帯数 | 542 世帯 |
| 高齢者のみ世帯数 | 431 世帯 |

資料：花巻市　年齢別人口集計表（令和５年９月末）、花巻市　老人人口集計（令和５年９月末）

【矢沢地区の社会資源等の状況について】

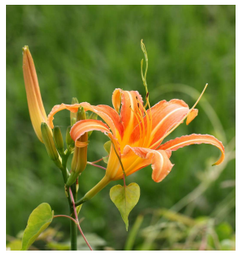
| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| コミュニティ会議数 | １ヵ所 | 民生委員児童委員数 | 17　人 | ふれあいサロン数 | 11ヵ所 |
| 民生委員児童委員協議会数 | １ヵ所 | 主任児童委員数 | ２人 | 医療機関数 | 3ヵ所 |
| 教育機関･学校数 | 認定こども園　３園　／　こども家庭庁所管企業主導型保育園　１園<br>小学校　１校（学童クラブ　１ヵ所）　／　中学校　１校 | | | | |
| 社会福祉施設数 | 高齢　10施設　／　障がい　5施設　／　児童　1施設 | | | | |

資料：東北厚生局　医療機関一覧表（令和５年11月１日）、花巻市　障がい福祉ガイドブック 2023

# 矢沢地区住民福祉活動計画

令和６年度～令和１０年度

# 矢沢ふくしのまちプラン



全ての人が住み慣れた地域で、自分らしく生き生きと生活していくためには、国や自治体が定めた一律の制度やサービスだけではなく、それぞれの地域の実情にあった住民同士の支え合いの仕組みが必要です。
地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、住みよい地域づくりを行っていくため、地域の福祉課題の解決に向けての目標を掲げ、目標の達成にむけて地域ぐるみの取り組みを推進するための計画です。

策定：矢沢地区小地域福祉活動計画策定委員会
編集・発行：花巻市社会福祉協議会矢沢支部
社会福祉法人　花巻市社会福祉協議会
問合せ：花巻市社会福祉協議会矢沢支部
電話　0198-41-8739　　ＦＡＸ　0198-22-4283

# 矢沢地区

花巻市博物館や宮沢賢治記念館等の文化観光施設、市指定有形文化財「熊谷家」、幸田神楽や胡四王神楽等の無形文化財、新花巻駅や東北横断自動車道等の高速交通網、さらには胡四王山等の大自然に囲まれ、豊富な地域資源に恵まれている地域です。

次世代を担う子どもたち・若者を地域で育むとともに、誰もが住みたい矢沢地区となるよう、支えあいの輪を広げる活動を進めてまいります。

## 『私たちの地域を語ろう』から始まりました

花巻市社会福祉協議会矢沢支部では令和4～5年度にかけて『私たちの地域を語ろう』をテーマに地域福祉懇談会を4回開催しました。

矢沢地区の住民のみなさんと地域の理想像について意見を出し合い、理想の地域づくりに向けて、今できていること、できていないこと、地域の強みや弱み、福祉課題について意見交換しました。

懇談会で挙げられた住民の声や思いを基に、地域住民が主体的に取り組むための住民福祉活動計画として、3つの目標をまとめました。

### 【矢沢地区の特徴ある地域福祉の取り組み】

- ふるさと高松げんき村（高松地区）による付き添い支援、配食サービス
- 矢沢地域振興会による新生児へのお祝い品贈呈、こども広場（未就学児）、介護予防教室の開催及びサークルへの助成、明老大学（高齢者の生涯学習）の活動、ひとり暮らし高齢者へのおせち料理贈呈
- こども会と連携した資源回収などの地域行事の実施
- こども園と高齢、障がい施設との交流事業
- ボランティアによるスクールガードの活動
- 神楽など郷土芸能を通じた世代を超えた交流　　など

## 福祉でまちづくりを進めるために聞いた　住民の声や思い

## 5年後こんな矢沢地区になっているといいな！！

学校と地域みんなで
子どもたちを見守り
育てていきたいな

「やっぱりここ（地元）が1番」
といえる地域

まつりなどの地域行事に
みんなで力を合わせる
地域になったらいいな

将来、車を手放しても
買い物や通院など
交通の「足」に困らず
安心して暮らせる地域

隣近所が挨拶を交わし
困った時などに気軽に
支えあえる地域に
なったらいいな

認知症になっても
障がいがあっても
自分らしく生活
できる地域

住民個々に
学んだこと、特技を
活かせる地域で
あったらいいな

住民の声や思いをもとに考えた

## 地域の福祉を良くする３つの目標

### ❀ やってみよう　学びあう矢沢　～まずは学び、理解を深めることから～

① 認知症・障がい等についての勉強会、施設等でのボランティアなど、理解を深めるきっかけをつくろう

② 地域での様々な活動に目を向けよう、情報を発信しよう（地域振興会報やまぼうしの活用など）

③ 既存の活動の拡充に向けて、ニーズ調査や他団体との共催・合同開催を企画してみよう

### ❀ さえ合い　手をつなぐ矢沢　～ちょっとしたコミュニケーションから支えあいの輪を広げよう～

① 適度な距離感を保ち、顔の見える関係性をつくろう（回覧板を回す際の声かけ、挨拶などから）

② 隣近所でのちょっとした支えあいと困りごとの解決から実践してみよう（ゴミ出し、除雪など）

③ 「移動手段に困らない地域」にするための取り組みをみんなで考えよう

### ❀ わか者が活躍する矢沢　～子どもたちが安心して暮らせる土壌づくり～

① 地元に誇りを持てるよう、子どもたちが地域の歴史や地理、施設などを知る機会をつくろう

② 多世代が交流できる機会・居場所をつくろう（世代間交流事業、貸農園での交流など）

③ 若い世代の声を聞き、若い世代が地域に関わりたいと思うような体制を整えよう